

■戸野琢磨 作庭家，ランドスケープアーキテクト。アメリカで学位，日本初の造園設計事務所を開き，国際交流にも貢献。

とのたくま
足尾鉋毒始・1891＝ 大阪府で，開業医の子に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 3歳：

ピアノ/国産化・1900＝ 9歳：

日本庭園の多くが集中する京都に引越したことで，開眼したのか，

日露戦争終・1905＝14歳：

伊藤博文暗殺1909＝18歳：

韓国併合・・・1910＝19歳：旧制京都府立第一中学校を卒業し，同年に東北帝国大学予科に入学。

明治天皇没・1912＝21歳：

大正政変・・・1913＝22歳：園芸学を修めようと，東北帝国大学の農科大学から改組した北海道帝国大学農学部に進学。

民本主義・・・1916＝25歳：在学中，旭川松平農場の歴史編纂に関わり農場経営を研究，この成果を卒業論文として，卒業すると，ニューヨーク山中商会に勤める叔父をたよって渡米。大農場の経営を夢見ていたが，叔父の勧めで，コーネル大学の造園建築学科に入学すると，

本格政党内閣1918＝27歳：この年，上原敬二が{上原造園研究所}を開く。
抜群の成績で，4年生課程を2年で卒業し，修士課程に進む。

原敬首相暗殺1921＝30歳：ランドスケープの修士号MLD取得。設計演習担当のインストラクターとして在籍し，日本庭園の講義も担当。同校の推薦で，イタリアに留学してヨーロッパ庭園研究した後，

関東大震災・1923＝32歳：帰国して，東京市公園技師嘱託。「札幌東本願寺墓苑」は，「帝都復興創業展覧会」で紹介される。

護憲三派圧勝1924＝33歳：銀座に，*日本初の造園設計事務所{戸野事務所}を開設。早大理工学部建築科に庭園学の非常勤講師として迎えられ，この年上原敬二が創設した東京高等造園学校講師に就任。

治安維持法・1925＝34歳：雑誌{庭園}に「米国におけるジャパニーズ・ガーデン」，

円本時代始・1926＝35歳：「ランドスケープ・アーキテクトに就いて」を掲載，以降も，同誌に小論を発表。小形研三と共同で，「旧植村傳助邸」を築造。藤田好三郎の依頼で，「豊島園」も設計

金融恐慌・・・1927＝36歳：米国大使館の設計にも携わるなど，活躍し続ける。

満州事変・・・1931＝40歳：

五一五事件・1932＝41歳：この年竣工したヴォーリズの設計「大丸ヴィラ・旧下村邸」に，京都初の洋式庭園のバラ園を設計。

国際連盟脱退1933＝42歳：石橋徳次郎の私邸「石橋迎賓館」の庭の設計を担当。

二二六事件・1936＝45歳：

日中戦争始・1937＝46歳：この年竣工した「豊郷小学校」の前庭を設計(近年建物とともに復元)。

総動員+健保 1938＝47歳：上原敬二が日本造園士会を創立するのに参画し，

大政翼賛会・1940＝49歳：理事長に就任。

日米開戦・・・1941＝50歳：

創価学会検挙1943＝52歳：*20年近く務めた早大の非常勤講師を辞任。

敗戦・・・・・・1945＝54歳：終戦直後，病に倒れ療養。

朝鮮戦争始・1950＝59歳：この年，太平洋戦中に米国の強制収容所での生活を余儀なくされた多くの日系アメリカ人の庭師によって，ガーデナ・バレー造園家協会(GVGA)が設立される。

独立回復・・・1951＝60歳：

TV放送始・・・1953＝62歳：東京農業大学で庭園学と海外の造園概要の教鞭をとり始め，

自衛隊発足・1954＝63歳：

国連加盟・・・1956＝65歳：「出光興産徳山工場」，

インストテンメ 1958＝67歳：*同校教授に就任。ワシントンDCで開催のIFLA世界大会に日本代表の一員として参加。以降，アメリカで日本庭園の紹介講演などを行って行く。米国の庭園デザイン界で広く名を知られ，

美智子妃・・・1959＝68歳：造園家アメリカ協会(ASLA)のメンバー・名誉会員に推挙される。

安保闘争・・・1960＝69歳：

タイタイ病始・1961＝70歳：45年前につくられた「ブルックリン植物園・日本庭園」の改修など，海外に日本庭園設計の概念を導入するために尽力，国際的な評価を得る。東京農業大学を退職，

全国総合計画1962＝71歳：日本造園学会名誉会員に推挙される。

TV宇宙中継始1963＝72歳：オレゴン州のジャパン・ソサエティのメンバーから依頼をうけ，ポートランドに日本庭園を設計，

東京オリンピック 1964＝73歳：この年設計された「Gardena Mayme Dear Library」は，GVGAから館側に寄贈されたものである。

大学紛争始・1965＝74歳：「箱根樹木園」，

美濃部都知事1967＝76歳：傑作「ポートランド日本庭園」が開園。

日中国交回復1972＝81歳：

成田衝突・・・1978＝87歳：*静岡県掛川市の資生堂アートハウスの造園設計を最後に，

ジャンボ機墜落1985＝94歳：没した。

多数の庭園のほか，建築作品や都市計画設計も多い。「日吉の銀杏並木」も助言してできたもので，「旧植村傳助邸」の邸宅と庭園の跡地も植村家とともに数十年間に渡って維持保全し，1994年に世田谷区が取得して，2000年に「桜丘すみれば自然庭園」として住民参加による緑地づくりが始まった。

インターネットWikipedia，片平幸「日本庭園像の形成」，